

## 令和4年度事業報告書

認定NPO法人TSUBASA

### 1 事業の成果

令和4年度に力を入れて取り組んだ事業は次の通りでした。

- 1 オンラインでのセミナー・イベントを多数実施
- 2 現地開催イベントへの出展
- 3 バードライフアドバイザー2級スキルアップセミナーを開催
- 4 103羽レスキュー文鳥の里親会を随時開催

### 【成果】

- 1 昨年に引き続き、オンラインでのイベントに力を入れました。  
愛鳥塾をはじめ愛鳥祭等のイベントをオンラインで開催しました。  
コロナ禍で対面でのセミナーが難しい一方、受講者は自宅から参加できるため新型コロナの感染拡大防止につながり、また遠方等が理由で今まで参加が困難だった方々が容易に受講できるようになりました。  
また、平日の開催を希望する声が多いことを受け、平日のセミナー開催も行いました。
- 2 2年ぶりに現地開催でのイベントに出展しました。  
5月にすまいるフェス（練馬）、11月にジャパンバードフェスティバル2022（我孫子）に出展しました。  
共に来場者が多いイベントであったため、TSUBASAを知らない方への宣伝に繋がった他、多くの募金もいただくことができました。
- 3 今年初の取り組みとして、バードライフアドバイザー2級スキルアップセミナーを開催しました。  
2級受講者のみを対象としたイベントで、受講者のスキル向上を目的とし、座学やワークショップ形式で行いました。  
数年振りの大規模な対面式でのイベントとなったため、遠方からも含め多くの方に受講いただきました。
- 4 昨年レスキューした文鳥たちの里親募集に力を入れました。（レスキュー時103羽）  
通常の里親会とは別に、レスキュー文鳥たちを対象とした「レスキュー文鳥里親会」を開催しました。  
通常の里親会の開催日以外でも随時里親のお話を進められる体制をとり、面会等の手続きも最小限に抑えて簡略化し、早くお迎えできる仕組みをとりました。  
文鳥たちは健康とは言えず、在住鳥への二次感染のリスクもあるため、ハードルが高い募集とはなりましたが、22羽の里親が決定し、文鳥はあと30羽となりました。  
（22年12月現在）  
今後も残された文鳥たちのお世話や治療を行いながら、里親探しを継続していく他、このようなレスキューを無くしていくよう情報発信、啓発活動に努めて参ります。

2 事業の実施に関する事項（令和4年1月1日～令和4年12月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数		支出額 (千円)
(1) 鳥類適正飼養に関する教育啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛鳥塾</li> <li>・愛鳥祭</li> <li>・セミナー・フォーラム・シンポジウム</li> <li>・ペットライフアドバイザー認定講座3級、2級</li> <li>・ペットライフアドバイザー2級スキルアップセミナー</li> <li>・外部イベントへの出展等</li> <li>・リーフレット設置、季刊誌の作成等</li> </ul>	通年	埼玉県新座市及び全国（オンラインを含む）	11名	全国の愛鳥家・動物愛護に関心を持つ方	1948名	10,271
(2) 鳥類の保護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里親会（MTB）開催</li> <li>・レスキュー文鳥里親会</li> <li>・鳥の引き取り</li> <li>・鳥の飼育業務</li> </ul>	通年 (引き取り・飼育業務) ※MTBは別途記載	埼玉県新座市及び全国（引き取り）	13名	全国の愛鳥家・動物愛護に関心を持つ方	103名	22,681
(3) 鳥類飼育、公衆衛生に関する出版物刊行事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼鳥のペレット読本</li> <li>・鳥種別リーフレット</li> </ul>	通年	埼玉県新座市	10名	全国の愛鳥家・獣医師他	4900名	357
(4) 鳥類の飼養・疾病・食餌に関する調査・研究・開発事業	健康管理に係る食餌、気温の調査	毎日	埼玉県新座市	11名	全国の愛鳥家	—	—
(5) 青少年に対する動物愛護精神啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習生の受け入れ</li> <li>・特別授業</li> </ul>	随時	埼玉県新座市	11名	学生一般	4名	—
(6) 国内外に於いて鳥類のおかれて いる環境の現況視察事業	多羽飼育家庭から相談を受けての視察、改善指導等	随時	全国	4名	—	—	—

(7) ペット用品、 飼料及び装身具 の売買、製造、 及び輸出入業務	鳥の為の物の販売等 ・鳥の餌 ・オモチャなど	随時	埼玉県 新座市	10名	施設 来訪者	325 名	781
(8) 動物病院施設及び 動物宿泊施設の経 営	令和4年度は活動実績 なし	—	—	—	—	—	—
(9) ペットに係る飼 養・食餌以外の 物品販売業	人の為の物の販売等 ・カレンダー ・コーズリボン ・雑貨など	随時	埼玉県 新座市	10名	施設・ イベント 来訪者	66名	233

(2) その他の事業 なし

### 3 各事業の活動内容等

#### (1) 事業名 鳥類の適正飼養に関する教育啓蒙事業

##### 1：バードライフアドバイザー3級認定講座

開催地、開催日

新潟：9/18

オンライン開催：3/12、4/16、7/31、9/2、10/1

合計6回 受講者235名

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、望月（NPO法人TSUBASA理事）

内容：日本で唯一の飼い鳥に限定した認定講座である「バードライフアドバイザー認定講座」を開催し、愛鳥家に3級のテーマ「鳥と私が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの活動や考え方をお伝えしました。

##### 2：バードライフアドバイザー2級認定講座

開催地、開催日（講座受講は1度の受講で2日連続講義）

オンライン開催：6/11～6/12

東京：10/8～10/9

合計2回開催 受講者85名

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、望月（NPO法人TSUBASA理事）

講師：眞田靖幸先生・直子先生（小鳥の病院BIRDHOUSE、CBL）、

石綿様（ALETTA代表）、

木村様（ナチュラリスト/東京都鳥獣保護管理員）、

小柳様（小鳥の病院BIRDHOUSE 看護師）、

青木先生（あさくさ法律事務所 弁護士）

内容：日本で唯一の飼い鳥に限定した認定講座である「バードライフアドバイザー認定講座」を開催し、愛鳥家に2級のテーマ「鳥と私と貴方が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの活動と3級より掘り下げた内容を専門講師と共にお伝えしました。

##### 3：セミナー等のイベント（一部を除きBLA2級スキルアップ対象セミナーを兼ねる）

開催地：オンライン、大阪、福岡、名古屋、札幌、今治、仙台

合計21回開催

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、

望月（NPO法人TSUBASA理事）、大西（NPO法人TSUBASA職員）、

内 容：日々更新される鳥達の飼い方の最新情報を常に取り入れる事を目的としています。2級は更新制で、BLAポイント対象のセミナー等のイベントに3年間で20ポイント分参加する必要があります。  
昨年に引き続きオンラインでの開催に力を入れたほか、今年は地方でのイベントも開催しました。

イベント名（一部抜粋）

「愛鳥塾（大阪、福岡、名古屋、札幌、今治、仙台開催）」  
「オンライン愛鳥塾（オンライン開催）」  
「第19回TSUBASAシンポジウム（オンライン、愛鳥祭期間内で開催）」  
「TSUBASA×ALLETTA合同セミナー」 等

4：オンライン愛鳥祭

開催地：オンライン

開催日：9/23 から 9/25

担 当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、涌井（NPO法人TSUBASA理事）、  
望月（NPO法人TSUBASA理事）、城ヶ崎（NPO法人TSUBASA職員）、  
佐藤（NPO法人TSUBASA職員）、大西（NPO法人TSUBASA職員）、  
井伊（NPO法人TSUBASA理事）、戸島（NPO法人TSUBASA職員）  
喜連川（NPO法人TSUBASA職員）、清水（NPO法人TSUBASA職員）

内 容：「常識から良識」というテーマの下、鳥業界の意識改革を目標としたイベントで、今年で6回目の開催となりました。

昨年同様、オンラインで開催しました。

TSUBASAの職員と外部講師によるセミナーをはじめ、6月15日の「オウムとインコの日」にちなんだオンライン慰霊祭、鳥グッズ製作のクリエイター様や企業様による出展販売等、内容が濃いイベントを開催することができました。

また、今年初めての取り組みとして、愛鳥さんのフォトコンテストや飼い主様のファッションコンテストの他、遠方の方でも里親になっていただきやすくなる取り組みとして、バーチャルM T Bも開催しました。

5：バードライフアドバイザー2級スキルアップセミナー

開催地：都立産業貿易センター浜松町館 他

開催日：10/8～10/9（東京）、10/22（大阪）、10/30（福岡）、11/13（名古屋）、  
11/27（札幌）、12/4（今治）、12/18（仙台）

担 当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、涌井（NPO法人TSUBASA理事）、  
望月（NPO法人TSUBASA理事）、井伊（NPO法人TSUBASA理事）、  
城ヶ崎（NPO法人TSUBASA職員）

講 師：眞田靖幸先生・直子先生（小鳥の病院BIRDHOUSE、CBL）、  
石綿様（ALLETTA代表）、  
木村様（ナチュラリスト/東京都鳥獣保護管理員）、  
青木先生（あきくさ法律事務所 弁護士）

内 容：2級受講者を対象としたイベントで、座学と同時にワークショップ形式で開催しました。

6：その他勉強会等イベントの開催、出展

上記以外でも、以下のイベントを主催あるいは参加しました。

「鳥類臨床研究会（5月、11月オンライン開催）」動画での出展

「すまいるフェス 2022in練馬」出展

「オンラインおもちゃ作り教室」（オンライン愛鳥祭内）

「愛鳥さんカラーの寄せ植え作ってみませんか」（オンライン愛鳥祭内）

「ジャパン・バード・フェスティバル 2022」出展

(2) 事業名 鳥の保護事業

保護するだけにとどまらず、新しい里親を探す活動も含まれます。

1 : TSUBASAで暮らす鳥の里親探し

・里親が決まった数：計 53 羽

内訳：ワカケホンセイインコ 1 羽、キバタン 1 羽、セキセイインコ 11 羽、オカメインコ 6 羽、コザクラインコ 3 羽、オオバタン 1 羽、シロハラインコ 1 羽、ヨウム 2 羽、タイハクオウム 1 羽、クルマサカオウム 1 羽、キエリボウシインコ 1 羽、ホオミドリアカオウロコインコ 1 羽、ズグロシロハラインコ 1 羽、レスキュー文鳥 22 羽

・鳥の里親会 (MTB: Meet the bird) 開催

施設で暮らす鳥達の里親会。昨年と同様、新型コロナウイルスへの感染対策を徹底しつつ、参加人数の制限や説明会を動画で配信するなどの対策をしたうえでの開催となりました。

また通常の里親会とは別に、103 羽のレスキューした文鳥を対象とした「レスキュー文鳥里親会」を随時開催し、あと 30 羽となりました。

里親会参加者総数：80 名

開催日：4/30、5/1、5/29、5/31、6/25、7/18、10/29、11/23、12/17

レスキュー文鳥里親会：随時受付

2 : 外部からの鳥の引き取り：23 件、35 羽の鳥を引き取りました。

1 件 1 羽：高齢者の飼育困難、死亡により

2 件 2 羽：インコ由来の呼吸器疾患、喘息、アレルギーにより（年令問わず）

7 件 11 羽：高齢ではない飼い主の病気により（精神疾患等）

7 件 11 羽：家庭の都合（引越し、飼育放棄）

6 件 10 羽：鳴き声によるもの

3 : 鳥のお世話に関するボランティア

日時：毎日 9:00～16:00（時間はボランティア様選択制）

延べ人数：計 584 人

(3) 鳥類飼育、公衆衛生に関する出版物刊行事業

1 : 鳥類獣医師の集まりである「鳥類臨床研究会」にて作られた情報をもとに、TSUBASAが作成した鳥の種類別のリーフレットを販売しました。

2 : 飼鳥のペレット読本

昨年に引き続き、小鳥の病院BIRDHOUSE院長眞田直子先生に執筆していただいた書籍の販売を行いました。愛鳥家の方はもちろんのこと、獣医師の集まるイベントなどでの販売、病院への卸販売も行いました。

令和元年に新たに改訂版を発行しましたが、概ね好評との御意見を頂きました。

(4) 鳥類の飼養・疾病・食餌に関する調査研究、開発事業

毎日の施設の鳥達の健康管理を通して、飲水量、糞便検査、血液検査、気温の変動による体調の変化などをチェックしました。それに加え、発情抑制やトレーニングの成果など含めて鳥達の飼養をする中で得られた学びを愛鳥家の方々に愛鳥塾やブログにてフィードバックをしました。

(5) 青少年に対する動物愛護精神啓蒙活動

学校からの依頼により実習生を随時受け入れ、保護施設の清掃をはじめ飼い鳥との接し方、保定、治療や看護について、実践的な学びの場を提供しました。

【令和 4 年度研修の受け入れ並びに、講義を行った学校】

TCA東京ECO動物海洋専門学校  
大阪ECO動物海洋専門学校  
ヤマザキ動物看護大学  
大宮国際動物専門学校

- (6) 国内外に於いて鳥類のおかれていた環境の現況視察事業  
多羽飼育によりご相談を受けた飼い主様のご自宅を訪問し、環境改善に向けての指導を行いました。
- (7) ペット用品、飼料及び装身具の売買、製造、及び輸出入業務  
鳥のための用品（ケージ、餌、おもちゃ等）が該当します。  
鳥たちと愛鳥家の皆様のためにお勧めできる餌、おもちゃなどの販売を実施しました。  
また、時間のあるお客様にはご注文いただいた商品の取り寄せ販売も実施いたしました。
- (8) 動物病院施設及び動物宿泊施設の経営  
→令和4年度は実績なし
- (9) ペットに係る飼養・食餌以外の物品販売業  
鳥を飼う方向けの用品（飼育書等）が該当します。  
TSUBASAを広く普及するための雑貨（コーズリボン）、カレンダーなど

#### 4 各種メディアでの活動内容の報道実績について

- (1) J:COM「つながるNEWS」
- (2) 朝日新聞
- (3) 瀬戸内海放送「ほっとせなNEWS」
- (4) 関東弁護士会連合会「関弁連がゆく」

#### 5 会員数、寄附者、ボランティアなど

正会員	:	349人
賛助会員	:	234人
法人会員	:	1団体
名誉会員	:	18人
寄附者	:	延べ2,241人
鳥のスポンサー	:	延べ489人
鳥のお世話に関するボランティア	:	延べ人数：計584人
プロボラなど	:	4名

また、募金箱への募金、支援物資の提供（ウイッシュリスト含む）、古本の提供（きしゃぼん）、支援の羽の提供、募金箱の設置、リーフレットの設置、鳥たちのおもちゃ作り、支援を目的としたイベント等の開催動物愛護イベントでの啓発活動、SNS等によるPRなど、様々な形でご支援をいただきました。

#### 6 西日本MTBセンター設置プロジェクトについて

令和4年度第1回臨時総会にて西日本MTBセンター設置プロジェクトが議決されました。現状埼玉まで足を運ばなければ里親になるのが難しく、鳥たちの里親のチャンスを広げるために、西日本に里親会に特化した施設として、設置する運びとなりました。現在は設置場所について視察、検討している段階ですが、進行がありましたら随時ご報告いたします。